

T S Iホールディングス

米国など海外事業に着手

消化率の改善受け



上田谷社長

T S Iホールディングスは、基幹ブランドでのノロパー消化率の改善で一定の成果が出ていることから、米国、アジアを軸とした海外事業に力を入れる。ゴルフウェア「パトリイゲイツ」は米国市場、ストリートブランド「ハフ」で中国市場への

投入を計画し、婦人服「アプワイザー・リッシー」は中国でテストマーケティングを開始している。同社の上田谷真一社長は、「一部のブランドで在庫は増えたが、順調に構造改革が進んだ。基幹ブランドでノロパー消化率が高まり、売上総利益率が改善した」と説明する。婦人服部門で在庫が増えているセレクト業態「ナノ・ユニバース」を除き、「ナチュラルビューティ」「ベシック」「マーガレット・ハウエル」「ローズ」は、「一部で売上総利益率が改善。M Dの再構築を進めているローズパッドは、20年2月期中の悪化を見込む。パトリイゲイツは、韓国市場で好調のほか、米国での販売を検討。その際、ディストリビューター（販売代理店）の買収を含めて、米国市場への商品投入を検討している」と述べた。ハフについては、中国のパートナー企業を選定しながら、出店戦略を練っている。

純利益は約4倍に

3～5月期連結決算

T S Iホールディングスの19年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比約4倍の24億円となった。売上高は9・4%増の428億円、営業利益は72・2%増の19億円、経常利益は47・4%増の21億円と増収増益になった。

(短信既報)

19年4月に発表した新中期経営計画に基づき、ノロパー消化率の改善やセールの傾倒しないブランドとビジネスモデルの構築に努めた。グループ全体で販管費を抑制し、営業利益は大幅に増加。昨年10月に子会社化した上野商会（東京都渋谷区）の売上高を加え

たほか、子会社のT S I グルーヴアンドスポーツが保有するキャロウェイ アパレル（同港区）の株式を売却するなど、特別利益12億9400万円を見込む。計上した。2020年2月期は、売上高1780億円、営業利益34億円、経常利益50億円、純利益40億円を